

こんにちは

議会だより です

NO.120

ひがしかぐら



主な内容

第4回定例会 ● 令和5年12月13日～14日(2日間)

- 年頭のあいさつ
- 一般質問 8名(16件)
- 令和5年度東神楽町一般会計補正予算(第8号)他
3会計補正予算
- 東神楽町特別養護老人ホーム条例の一部改正
- 東神楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の
条例の一部改正
- 連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する
協約の締結の件
- 人権擁護委員候補者の推薦の件



謹賀新年



新年によせて

東神楽町議会議長 森國 孝芳

新年明けましておめでとうございます。
ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

まず、この度の令和6年能登半島地震により犠牲になられた多くの方々に哀悼の意を表しますと共に、被災された方々に心よりお見舞いと、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、私たちの暮らしに大きな影響をもたらしていた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、「コロナ禍からの再生と飛躍」に向けての取り組みが進められています。

昨夏は記録的猛暑に見舞われ、気象庁は6～8月の平均気温が、1898年の統計開始以降で最も高かったと発表しました。また、国連事務総長は、「地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘を鳴らしました。命に関わる事であり、本町においても公共施設、小中学校などエアコンの設置が進められています。

スポーツ界では、陸上女子やり投げで、旭川市出身の北口榛花選手が世界選手権ブダペスト大会で金メダ

ルを飾ったり、MLBアメリカン大リーグでは大谷翔平選手が44本の本塁打で日本人初のアメリカンリーグ本塁打王に輝くなど、多くの日本人が世界の場で活躍をし、勇気と感動を与えてくれました。

当議会は昨年4月の改選により、新任議員2名が加わり、新たな構成の中で、議員一同がその職責を認識し住民全体の立場に立って、議員活動に努めているところであります。

我町が更に発展し、より良いまちとなるよう、町のため、町民のため、議員活動に努めてまいりますので、今後とも当議会に対し、ご理解とご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「辰年（たつどし）」です。辰年は、活力旺盛になって大きく成長し形が整う年と言われています。竜が水や雲、翼を得るように、持てる力を存分に発揮して、飛躍する1年にしていきたいものです。

終わりに、新しい年が町民皆様にとって、健康で、明るく、幸せな一年となりますよう、ご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

DXで一步進んだ 議会をめざして

東神楽町議会議員一同



各委員会のご紹介

★議会運営委員会

委員長 生田 栄
副委員長 山口 千春
委員 丸田 隆嗣
委員 竹久 美紀恵
委員 清野 修一

★議会広報常任委員会

委員長 横溝 政行
副委員長 小宮 達一朗
委員 生田 栄
委員 竹久 美紀恵
委員 松尾 貴野枝
委員 清野 修一

★文教産業常任委員会

委員長 竹久 美紀恵
副委員長 小泉 義隆
委員 横溝 政行
委員 山口 千春
委員 伊藤 一乗
委員 清野 修一

★総務厚生常任委員会

委員長 丸田 隆嗣
副委員長 小宮 達一朗
委員 生田 栄
委員 窪田 功
委員 松尾 貴野枝

第4回定例会

令和5年12月13日～14日

報告1号

行政報告（主な事項）令和5年9月16日以降

総務課

▼選挙管理委員会

▼委員長

原部淳委員

▼委員長職務代理者

蒔田栄委員

▼東神楽町長選挙

告示日 令和6年1月30日（火）

投票日 令和6年2月4日（日）

まちづくり推進課

▼地域高規格道路「旭川十勝道路」等の本町単独要望

▼上川総合振興局

▼北海道

▼国土交通省北海道局、北海道選出国會議員

健康ふくし課

▼フリースクール大作戦（参加者230名）

▼新型コロナウイルス秋開始接種

建設水道課

▼第34回緑の環境プラン大賞表彰式

複合施設ガーデンが、シンボルガーデン部門で

都市緑化機構賞を受賞

教育委員会教育推進課

▼季節性インフルエンザ感染症による

学校閉鎖の報告

▼中学校における各競技大会の結果報告

▼社会教育事業…アトシアター鑑賞事業

▼社会体育事業…第8回ひがしかぐら

バーベキューマラソン

（250名参加）

第4回定例会議案審議

（令和5年12月13日～14日）

主な議案

結果

報告第2号	定期監査の結果報告	報告を了す
	一般質問（8名）	
議案第1号	令和5年度東神楽町一般会計補正予算（第8号）	議案第1号から 議案第7号すべて 賛成多数で可決
議案第2号	令和5年度東神楽町国民健康保険特別会計診療施設勘定補正予算（第4号）	
議案第3号	令和5年度東神楽町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第4号	令和5年度東神楽町下水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第5号	東神楽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	東神楽町特別養護老人ホーム設置条例の一部を改正する条例	
議案第7号	連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の件	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦の件	推薦同意
報告第4号	委員会審査報告（総務厚生常任委員会） [請願第1号] 地域医療を守るために、診療報酬の引き上げを求める意見書に関する請願書	採択
報告第5号	委員会報告（タブレット等検討特別委員会・中間報告）	報告を了す
発委第1号	意見書の提出（総務厚生常任委員会） [意見書案第7号] 地域医療を守るために、診療報酬の引き上げを求める意見書	賛成多数で可決 意見書を 関係機関へ送付
	閉会中の継続審査及び調査申出の件	原案承認



小泉 義隆 議員

- 1 住民の足を守る地域公共交通の新たな方向性について
- 2 保育の「質」の確保・向上について

竹久 美紀恵 議員

- 1 学校給食費の無償化について
- 2 ふれあい交流館・これっと総合体育館の資源回収物置について



小宮 達一朗 議員

- 1 町のインバウンド対策について

横溝 政行 議員

- 1 今後の義経公園の在り方について
- 2 町内のトレーニングルーム、テニスコートこれでいいのですか



松尾 貴野枝 議員

- 1 物価高騰支援対策について
- 2 带状疱疹ワクチン接種費に助成する考えはないですか

清野 修一 議員

- 1 デジタルトランスフォーメーション(DX)の進行状況と課題はあるか
- 2 本町の道路環境の整備について



生出 栄 議員

- 1 安心して冬を過ごせる東神楽町のために
- 2 子育てしやすい街として
- 3 ゼロカーボンシティ実現に向けて

窪田 功 議員

- 1 我町に於けるヤングケアラーの実態は
- 2 農村部に於ける道路の草刈について



ここが聞きたい!

一般質問

第4回定例会では
8人が一般質問しました。

質問・答弁は要約されています。議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。質問全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しく知りたい方は、東神楽町議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますので、どうぞご利用ください。

小泉義隆 議員



問 住民の足を守る地域公共交通の新たな方向性について

答 今年度実施する総合計画のアンケート調査の結果なども踏まえ、検討します

質問 近年のバスやハイヤーの運転手不足は、今後一層深刻化する見通しです。特にハイヤーはバスとともに安定的に公共交通サービスを提供することから、地域の持続可能な公共交通ネットワークを形成する重要な交通機関であると考えます。町内のハイヤーの現状に対してどのような対策を検討されていますか。

また、地域公共交通である路線バスやハイヤー、スクールバス、コミュニティバス、乗合タクシー、福祉バスなどを一体的な「ネットワーク」として捉え、全体としての機能向上を図っていくことが必要ですが、本町にはスクールバス以外に地域のバスがありません。スクールバス以外の地域バスの運行について、早急かつ真剣に検討すべきと考えますが、町長はどのようにお考えですか。

町長答弁 町としても、ハイヤー事業者から意見聴取するなど、現状の把握や改善策を模索していますが、運転手不足への対応については難しい問題であると認識しています。

今後の本町における公共交通については、今年度実施する総合計画のアンケート調査の結果なども踏まえ、町民の皆さまが、安心・安全に暮らしていける公共交通体系について検討してまいります。

質問 10年後、20年後の町内の公共交通はどうなるとお考えですか。

町長答弁 高齢化はどんどん進展す

るといふ観点から、公共交通を利用しやすい環境、あるいはできるだけ公共交通を使ってもらえるような環境を作っていくことが大事だと思っています。

質問 ハイヤー事業者に対して、将来的に何らかの支援をするお考えがありますか。

町長答弁 ハイヤーに公共交通としての役割があつて、町として支援すべきとなればそうすることもあろうでしょうし、まずは新しい交通体系をどうしていくのかということを皆で考えていく必要があると思っています。

質問 いまこそ将来を見据えた新たな公共交通、地域のバスの運行を検討すべきではないですか。

町長答弁 公共交通については、研究が必要だと思っていますので、今後進めていきたいと思っています。

保育の「質」の確保・向上について

質問 待機児童が減少してきていることから、次に求められるのは「質」の観点からの保育施策になると思われれます。保育の「質」の確保・向上について教育長はどのようにお考えですか。

教育長答弁 質の向上への取り組みとして、保育士の専門性を高めるための各種外部研修の受講のほか、定期的に開催している職場内研修や職

員会議などを通じて園児一人一人の特性を共有し、きめ細やかな保育ができるよう取り組んでいます。このほか、国の基準を上回る人数の保育士を配置し、より安全に保育する体制を整えています。

今後に向けては、「第3期東神楽町子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～11年度）」の策定に向け、その基礎資料となるアンケート調査を実施するとともに、教育・保育機関の関係者や保護者の代表等を構成メンバーとする計画策定委員会を充足させ、本町の子ども・子育て支援事業の提供体制の確保などに向けた検討を進めていくこととしています。

今後も、子どもたちの安全と健やかな育ちの場として、保護者の皆さまが安心してお子さまを預けていただける教育・保育施設を目指し努力してまいります。



こころから
認定こども園 心花楽

問 学校給食の無償化について

答 財源の確保や継続が難しく優先すべき施策を検討していきます



竹久 美紀恵 議員

質問 少子化対策・子育て支援や物価高騰・実質賃金低下を受けて公立小・中学校では給食費の無償化が全国的に進んでいます。上川管内でも上川町・美瑛町・東川町でも実施されています。東神楽町での学校給費予算が6千万円となっています。小学生一食（246円）中学生一食（280円）で非課税世帯には補助がなされていますが、多子世帯などの負担はとも大きいと考えます。

全ての子供が公平に、栄養バランスの取れた学校給食を安心して食べることが望ましいと考えますが、町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁 本町における給食費の完全無償化は財源確保や継続が難しく段階的な実施など恒久的な制度の確立を検討し、子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに国等の動向も注視しながら優先すべき施策を総合的に検討してまいります。

教育長答弁 全ての児童生徒の給食費の無償化をするには、財源の確保や事業の継続性の観点から難しいと考えています。今後も保護者の経済的負担軽減のため必要保護児童生徒就学援助事業等による無償化のほか、引き続き安全で質の高い学校給食を提供する取り組みや地場産食材の利用拡大を進めてまいります。

ふれあい交流館・これと総合体育館の資源回収物置について



楽しい給食の時間
(東神楽町食育教科書より)

質問 各町内会でもゴミの問題が大きな課題となっています。年末や年明けなどには物置のドアが外れるほどの沢山の資源ごみや生ごみなどが混入して入れられていることもあり、違反ゴミや収集不可のゴミがドアの外に山積みになっていることもありました。見た目にも安全性や環境にも良くないと考えますが、町としてこのままで良いのか、また、何か施策を考えているのかをお聞かせ下さい。

町長答弁 物置を無くす考えはありませんが、違反ゴミや分別ができていないゴミは直ちに回収をせずに周知期間として数週間残置する対応をとっています。



ふれあい交流館の資源回収物置

質問 ルールを守らない町民が居ることは、とても残念なことですがペットボトルの資源ごみ再利用ケミカルリサイクルを行っている町として、もっと分かりやすい分別方法や周知・啓発を考えていくことが必要ではありませんか、また、スマートホンでの分別方法を検討中とのことですが、どのように進んでいるのかをお聞かせ下さい。

町長答弁 排出場所の分散も有用し、自宅周辺ゴミボックスの活用や啓発をしたうえで今後、町民向けに新たに導入するスマートホンを使用した「ゴミ分別サイト」LINEの活用を通して違反ゴミ等の削減を考えてまいります。

小宮達一朗 議員



問 町のインバウンド対策について

答 大雪カムイミントラDMOとともに、事業者と連携していく

質問 観光庁が発表した2023年7～9月期の訪日外国人旅行者の消費額は1兆3904億円、コロナ前の2019年同期より17.7%増加し過去最大となりました。北海道は観光地として外国人にも人気があり、国際線の運航が再開した旭川空港から多くの訪日外国人が冬の観光に訪れると予想されます。言葉も常識も価値観も違う観光客が町民や他の観光客とトラブルにならず、この経済的恩恵を受けるチャンスを活かす具体的な対策はありますか？町長にお伺いします。

町長答弁 小宮議員の「町のインバウンド対策」のご質問にお答えします。

韓国・台湾・中国そして旭川・成田線の定期便運航がスタートしたことで旭川空港を起点に北海道を観光する訪日外国人の増加が期待できます。本町では1市8町で構成する大雪カムイミントラDMO(以下DMO)と連携しており、森林公園内の「ウパシの森」隣接する天然温泉「森のゆ花神楽」が特に魅力的なコンテンツであると考えています。

質問 旭川空港を起点に訪日外国人の増加が期待できるとの事ですが、旭川空港の利用者数を把握されていますか？

町長答弁 逐次という事ではないですが旭川市や北海道エアポートと連携して運行状況について連絡を取り

合っています。

質問 調べましたところ令和5年4～10月の半年間で、国際線で旭川空港に降りた人数、8849人というデータがありました。東神楽町の人口とほとんど変わらない人数が半年間で東神楽町に來ています。

私が、なぜこの質問をするかというと、私は閉会中に東京・大阪・京都の観光地に赴き、現地の様子を実際に見て、オーバーツーリズムだなと感じました。確かに訪日外国人が東神楽町に來ると経済効果が期待できます。同時に危機感も覚えたので、これから冬の間、観光客が増える北海道の、そして空港のある東神楽町のインバウンド対策について質問しています。そして、思うのは町が自主的に対策せずに連携事業者に頼ってばかりで良いのでしょうか？実際にDMOのホームページを見ましたが、東神楽町の体験商品は掲載されていませんでした。もう12月ですよ。他の地域に観光客が流れてしまう事が心配です。そのDMOに令和4年度も5年度も地方創生交付金事業として600万円ほど支出されている。この交付金が東神楽町民へどのように還元され恩恵をもたらしたのでしょうか？

町長答弁 交付金は直接、町民に対して還元するのではなく、事業者に対して交付しながら地域の活性化を担っていくと思っています。ウパシ

の森に関しては子どもたちへ優待券を配布しています。

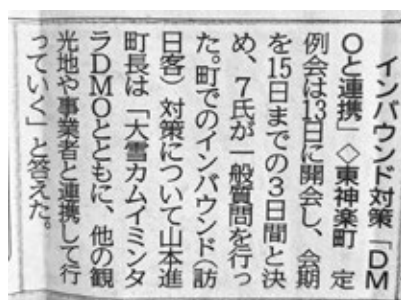
質問 確かに交付金は事業者にという事ですが、私が事業者様とお話すると皆さま、東神楽町の事を第一に考えていますよ。町と町民へどれだけ還元できるかと事業をされています。町がリーダーシップを発揮しながら事業者と連携して直接でなくとも町民に還元される行政をお願いして私の一般質問をおわります。



雪のあそびば
森林公園
ウパシの森



森のゆ花神楽の
露天風呂



北海道新聞 インバウンド対策の
質問に対する町長の答弁

横溝政行 議員



問 今後の義経公園の在り方について

答 町民の意見を聞きながら進めてまいります

質問 我が町唯一の運動公園であります義経公園を今後どの様に考えて行くのかをお聞きます。

中央市街地の今後を考えた時に、義経公園のリニューアルと言った事は考えて行くべきではないでしょうか。町民の癒しの場所であったり、スポーツ、イベント、子供たちが思いきって走り、遊びが出来る唯一の場所でもあります。今の義経公園が果たしてその様な環境になっているのでしょうか。

グラウンドの土は水はけが悪く2、3日、雨が降れば使用出来ない様な状態があります。

樹木にしても伸び放題非常に危険であります。

噴水に至ってはもう3、4年は稼働してないではありませんか。町民からは何故この暑い夏に噴水を止めているのかと言った苦情が来ます。

旧文化センターについてお聞きします。今は高齢者事業団が入っていますが、かなりの年数が経っています。今後どの様に考えて行くのかをお聞きます。

町長答弁 義経公園内の各施設は老朽化が進んでおり、樹木は強風で倒木の恐れがあり、グラウンドは雨天が続くと水はけが悪状態であります。

町唯一の運動公園でありますので、地面の改善を行った上で、スポーツが出来るエリアを中心に子供達も

楽しめる遊具の設置、花まつりの様な野外イベントにも対応できる様な公園を考えて行きます。

噴水は止めている状況であります。老朽化している事による漏水の恐れがあり、塩素の使用など地下水に影響が出る恐れがあるので停止をしています。

旧文化センターにつきましては今後検討して行きます。いずれにしても今後町民の意見など聞きながら進めてまいります。



冬の義経公園

町内のトレーニングルーム、ひじり野公園テニスコートこれでいいのですか

質問 夏は屋外でのスポーツが盛んに行われていますが、冬になりますと室内の運動施設の利用が多い訳であります。総合体育館のトレーニングルームが果たしてその様な環境になっているでしょうか。

用具（器具）などは充実していますが室内の照明、壁は非常に暗く、あまりいい環境とは言えないのではないのでしょうか。

ベンチプレスなど危険な器具もある訳です。そういう所には注意喚起をするとか、人を付けるとか何らかの対策をとるべきです。

ひじり野公園のテニスコートについてお聞きます。町長は何時まであのような状態で町民に使わせるのですか。非常に危険です。つぎはぎの状態になっています。もしケガでもしたら大変な事になります。

早急に直すべきと考えますが、今後の対応はどうしますか。

町長答弁 次年度以降環境関係の補助金が使えそうな見込みです。確認した中で総合体育館、住民が使う施設などLED化を進めて行きます。危険な部分については調査をして周知をして行きます。

ひじり野公園のテニスコートですがこのままでいいとは思っていません。今後議論をしなければならぬと思っています。実際直すとなれば2000万円位の費用がかかります。テニスコートが必要なのか、又違った物がいいのか、次年度以降住民の方と相談させて頂きます。

松尾 貴野枝 議員



問 物価高騰支援対策について

答 重点支援地方創生臨時交付金を活用して支援をしてまいります

質問 政府は今年の春、電気・ガス・ガソリン・食料品などの価格高騰の影響をうけた生活者や、事業者に対し、総合経済対策の中の「重点支援地方交付金」を活用して、住民税非課税世帯に3万円の給付をしました。

また、「推奨事業メニュー」を提示して各自治体の実情に合わせた支援を行うよう通達しました。

我が町も5月に、住民税非課税世帯と、非課税均等割世帯に、それぞれ給付をしました。

また、酪農経営者や指定管理者にも支援を行いました。

今回、国はこの追加ということで住民税非課税世帯へ7万円の給付を行います。

また、推奨事業メニューからは、地域の実情に合わせた支援対策を行うよう各自治体に伝えました。

そこで、我が町としては、住民税非課税世帯への7万円給付を、いつ頃実施する予定ですか。

また、推奨事業メニューは、どのような対策で支援をしようと考えていますか。この2点について町長の考えをお聞かせください。

町長答弁 住民税非課税世帯への給付は、年内に行う予定です。

推奨事業メニューにつきましては、一つ目は、住民税均等割りのみ課税世帯に対して、一世帯当り5万円の給付をします。

二つ目は、国で実施する子育て世帯生活支援特別給付金の支援対象外の子育て世帯に、一世帯当り2万円と第二子以降ひとりにつき、5千円を加算し給付します。

三つ目は、農業者の肥料費の負担軽減を図るため、北海道が行う支援事業に上乗せをして、1トン当り3125円を上限として支給します。

四つ目は、学校給食賄材料費の物価上昇分を公費負担します。

このような取り組みを実施して、物価高騰の影響を受けた方々に対して、支援してまいります。



肥料の写真

带状疱疹ワクチン接種費に助成する考えはないですか

質問 带状疱疹は、50歳を過ぎると誰でもかかる可能性をもった病気です。子供の頃にかかった水疱瘡の

菌が、ストレスや免疫が低下したことによって引き出され発症します。罹患すると、合併症として難聴や目の異常、顔面神経麻痺などがあります。後遺症としては、带状疱疹後の神経痛があります。そして罹患が増えたと医療費の損失、労働力の損失なども考えられます。

しかし、带状疱疹ワクチンは、接種費が高く、ワクチンに対する認知度も低いいため、接種する人が少ないのが現状です。

また、最近では高齢者ばかりでなく、若者も発症する事例が増えてきているといえます。

この事を踏まえて带状疱疹ワクチン接種費に助成する考えはないですか。

町長答弁 厚生労働省の審議会で、定期接種化についての検討が、進められております。その動向を注視し調査研究をしてまいります。



清野 修一 議員



問 デジタルトランスフォーメーション(DX)の進捗状況と課題はあるか

答 窓口業務の利便性向上に向けた各種サービスを展開している。今後は専門的知見を持つ民間企業と連携して進めます

質問 積極的に進めるDXの取り組みの現状はどうか、効果はどうか。
町長答弁 町民に対してはICTを活用し子供達の学習機会の支援や町民の心身の健康づくり、税金などのスマートフォンアプリ納入サービス、住民票などのコンビニ交付・「書かない窓口」などを導入し利便性向上を図っています。また、地域おこし協力隊による「スマホ相談会」や行政文書のデジタル化の取り組みを行い、ペーパーレス化の効果で新庁舎執務スペースが約3割削減した一定の効果が出ています。



DXで「書かない窓口」

質問 セキュリティ対策として、スマホによる電話システムやPCによるインターネットの使い方などについて対策はとれているのか。
町長答弁 スマホでの連絡体制ではLINEと似ているエイジフォンというアプリを使いデータ通信や音声通話をしています。PCにおいては、インターネットの使用は限られた端末でしか対応しておらず、多くはLGWANという行政独自のネットワークで業務をしており、情報の漏洩リスクは低いと思いますが、不正アクセスは日進月歩でありセキュリティ対策も進化が必要と考えています。

本町の道路環境の整備を考える

質問 ウォーキングを推進するには、専用の地図と、道路にはキロポストを設置してはどうか。
町長答弁 地図はすでに「ひがしかぐらジョギングコース8選」というパンフレットを作成しています。またキロポストの設置は考えていません。

質問 今後ポランテアの方が行っている道々の植樹・花壇の維持管理はどうするか。街路等の落ちは道路沿いに積もっている、クリーンウォーキング大作戦のような取り組みが必要だ。

町長答弁 道路美化には町民の皆さんが主体となって綺麗にしたいだっている。これは町の誇りであり、昔から繋がってきた。課題はあるが、今後お願いしていきます。

質問 信号機や標識の設置、速度制限の見直しなど必要な箇所がたくさんあります。町長も公安委員会に要望してるがなかなか実施されません。この問題をまちづくりとして取り組むことはできませんか。大型電気店の開業があれば一層必要になります。

町長答弁 地方財政法上の問題で基本的にはできません。現段階では粘り強く要望していきますが、町として出来ることを取り組みたい。



道路沿いに積もった銀杏の葉

【注記】

※DXとは：デジタル技術やデータの活用によって公務員の業務効率化を図り、住民の利便性をより向上させるための取り組み

※リテラシーとは：ある分野に関する知識やそれを活用する能力

※アコデーとは：DX推進等に対するコンサルティングを手掛けるほか、システム開発・運用等の技術支援等の人材育成サービスを提供する

生 出

栄 議員

(日本共産党)



問 安心して冬を過ごせる
東神楽町のために

答 道々整備による代替線のみずほ通りは、安全確保に努める



除排雪されていない町道

質 問 我町の除排雪体制は、旭川市より進んでいる街ではあったが、旭川市も力を入れてきて、以前よりは良くなっている様に思います。

そこで今年の我町の除排雪は万全かを問うと共に、道々の代替道路になっている、みずほ道路の除雪は万全か。

町長答弁 道々の整備工事により、う回路として交通量が多くなっていることは把握しています。安全な交通の確保をしてまいります。

質 問 工事中の道々整備で一度もグレーダーで平らにした事が無いように見えますが、なぜ道なり業者に申し入れを行わないのですか。あまりにも凹凸がひどいと思わないのですか。

町長答弁 工事自体は2月で完了するということですが、道の方には申し入れをしておこうと思います。

子育てしやすい街として

質 問 子育てしやすい街として、各施策を行ってきた町長として残る施策は何があるとお考えか。又、我町では、育休退園制度は、まさか、実施していませんよね、お聞きします。

町長答弁 通学費の助成や、医療費の無償化を進めてきました。やはり給食の無償化は全国で広がっていますし、本当に本町でもできるならやりたいという思いです。

教育長答弁 我町では育休退園制度は実施していません。

質 問 両隣町で給食無償化が実施し上川町も実施している。給食法に基づいて、給食費を集めても良いとなっていて、集めなければならぬとはどこにも書いていない。育休退園制度と解釈は同じで、国の制度はあるが、我町としては行わないという事で、義務教育はすべて無償とする憲法に書いてあることを守るのが、町長の役目と思い質問しているのです。

町長答弁 給食費の無償化ということ、無償化まではいかないが、額を下げる等、できるだけ取り組んでいきたいと考えは持っています。

ゼロカーボンシティ

実現に向けて

質 問 町では、地球温暖化対策実行計画が策定され、事務事業編の中で温室効果ガス排出量を減らす努力を見た時に、町としてこれから何ができるかの課題で、提案したいと思っています。町営住宅建設で、これから新町公住の建て替え工事を行う予定があります。RC構造で4階建てと2階建てが発表されました。

昨今、鉄筋コンクリート建てを、木造に切り替えることで、中低層まで木造が認められています。新町公営住宅ゼロカーボンシティとし、4階建ての木造公営住宅の考えを持つことはできませんか。国、道の積極的支援を受けてぜひ実現してみたいと思います提案しますが、見解を伺います。

町長答弁 ご指摘の通り、木造建築が環境負荷を低減できるという事は認識していますが、中層建築においてのCLTなどの技術はまだ発展途上の段階と考えています。

昨年度実施している新町団地も、木造の検討を行いました。建設コストが約一・五倍になることがわかり、採用は断念しています。

窪田 功 議員



問 我町におけるヤングケアラーの実態は

答 ヤングケアラーと思われるケースに対して、適切かつ速やかな相談の実施と生活支援について個別対応を行っている

【質問】 我町におけるヤングケアラーの実態は、町として、生徒は何かあり、どのような支援体制が取り組まれているのか、お伺いします。

【町長答弁】 ヤングケアラーは、近年全国的な課題として注目されており、現在、国や道を中心に早期発見や相談支援対策を進めているところです。町では、児童の虐待防止、権利擁護を目的として、役場、教育関係者、相談支援機関などで構成する要保護児童対策地域協議会を設置しており、緊密な連携による虐待等ケースの早期発見や早期支援に努めております。

件数は少ないものの、学業や生活に支障が懸念されるようなヤングケアラーと思われるケースに対して、適切かつ速やかな相談の実施と生活支援について個別対応を行っているところです。今後も関係機関と連携し、該当ケースの早期発見や支援を図るとともに、ヤングケアラーに関する理解促進のための周知啓発を推進してまいります。

【教育長答弁】 北海道教育委員会では、ヤングケアラー支援に向けたツール等の活用や、相談窓口等の開設を行っており、随時、相談窓口を設置して対応しております。本町では、教職員等がヤングケアラーに係る研修会を受講し必要な対応しております。通常の学校生活から教職員等がきめ細やかに児童生徒の様子を観察

するとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒や保護者等が悩みを相談しやすい体制づくりに努めております。

【質問】 道外のある県で全校全員にアンケートを取った結果、小学校で8・3%、中学校で13・5%のデータがありました。我町の実態を實際に知るには学校でアンケートを取るなど工夫しないとなかなか気づかないのではないかと思います。調査等を実施するかしないか、お伺いしたい。

【教育長答弁】 ヤングケアラーにつきましては、自分がそういうヤングケアラーだというような対象であるというふうに気づいている児童生徒が大変少ない状況にあります。まだまだ認知度が低い。道教委の児童生徒向けのヤングケアラー啓発資料を、配布して周知しているところです。アンケートをするということよりは、子供達の学校等での様子、宿題を忘れていないか、忘れ物が多いとか、浮かない顔をしているとか、児童生徒の様子をしつかりと把握しながら、ヤングケアラーの可能性に結びつく、これについては、すぐさま相談体制をとっていくというふうに考えております。

農村部における

道路の草刈りについて

【質問】 住民の減少により、人手不足で重労働である道路の草刈りは負担であり、困難で苦勞しているようです。町として支援体制づくりを進めるのか伺います。

【町長答弁】 農村部の道路につきましては、年2回、路肩の部分を町が草刈りをしております。その外側の法面部等は、道路愛護により年に2回、地元の方に草刈りをお願いしているところでございます。この作業に関しては、ご指摘のとおり、重労働で大変ご苦勞されていると思いますが、農村部につきましては、この草刈りなどの活動が、景観保持にかかる「多面的機能支払交付金」として支払われております。農村地域の高齢化や人口減少等課題も認識しており個別に協議が必要と考えておりますが、当面はこうした交付金等を活用し、地元や関係団体等の協力をお願いしながら、道路の環境維持を進めてまいりたいと考えております。

【質問】 戸数が少なく高齢者が多い、人数が集まらない行政区を支援できないか？

【町長答弁】 ちょっといろんな形で個別のケースもそれぞれあると思いますので、相談に乗らせていただきましたというふうに思います。

第7回 臨時会

日 時

令和5年11月27日

報告第1号

専決処分の件

議 案

第1号 令和5年一般会計補正予算（第7号）

主な内容

歳入歳出それぞれ9,237,519千円のまま

議 案

第2号 令和5年国民健康保険特別会計診療施設 会計診療施設勘定補正予算（第3号）

主な内容

人事院勧告に伴う人件費の増額

議 案

第3号 令和5年 水道事業会計補正予算（第2号）

主な内容

人事院勧告による補正

議 案

第4号 令和5年 下水道事業会計補正予算（第2号）

主な内容

人事院勧告による補正

議 案

第5号 議会議員の議会報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する

議 案

第6号 特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議 案

第7号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議 案

第8号 公の施設に係る指定管理者の指定について

主な内容

- ・管理を行う施設→東神楽特別養護老人ホームアゼリアハイツ
東神楽特別養護老人デーサービスセンター
- ・指定管理者→社会福祉法人東神楽町社会福祉協議会
- ・管理期間→令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）まで

議 案

第9号 公の施設に係る指定管理者の指定について

主な内容

- ・管理を行わせる施設→東神楽町国民健康保険診療所
- ・指定管理者→旭川市宮前2条1丁目 社会医療法人元生会 理事長 森山 領
- ・管理期間→令和6年4月1日～令和26年3月31日（20年間）まで



【意見書の提出】

意見書第7号

地域医療を守るために、 診療報酬の引き上げを求める意見書

安心・安全の医療を国民に安定して提供するためには、医療の質を損なわないよう、診療報酬の適正な水準を確保することが必要である。必要な報酬が確保されてこそ、医療機関の経営が守られ、医療提供体制を整え、国民生活を支えることができるものである。

日本病院会・全日本病院協会・日本医療法人協会が実施した「2023年度病院経営調査」では、2021年・2022年度の病院の経常利益は新型コロナ関連の補助金を除くと、6割が赤字になると報告されている。医療材料費や水道光熱費の高騰など、物価高騰による影響も経営を一層厳しくしている。

公立病院は都市部から離島・僻地まで存在し、地域における基幹病院としての役割を担っている。また、新型コロナなど困難な医療に積極的に対応するなど、地域住民のいのちと健康を守るうえで欠かすことができない役割をもっている。このような役割を果たしている公立病院も物価高騰や医師・看護師不足のために、厳しい経営状況となっている。

現状のままでは、経営難のために道内の医療機関が一層減少しかねないものである。

また、2023年は正社員の賃上げ率が30年ぶりの高水準と言われている一方で、医療従事者の賃上げは低い水準にとどまっており、人手不足を改善するためにも、人材確保に向けた処遇改善は急務である。

よって、国においては、地域医療を守り、国民医療の充実を図るため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 医療機関の経営を守り、医療従事者の処遇を改善できるように診療報酬を引き上げること
2. 長年据え置かれてきた入院時食事療養費を赤字が出ないように引き上げること。その際に、患者負担額を増やさないようにすること
3. 病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保を図ること
4. 地域の医療需要を満たす医療提供体制を構築すること
5. 医師・看護師等医療人材の確保を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

議会の動き

9月27日以降

各委員会

開催日	開催場所	委員会の名称、内容等	出席、参加者等
令和5年 10月2日	委員会室A	議員協議会（第16回）	議長、議員
10月6日	委員会室B	議会広報常任委員会（第8回）	委員長、委員
10月11日	201 会議室	タブレット等検討特別委員会（第5回）	委員長、委員
10月17日	委員会室B	議会広報常任委員会（第9回）	委員長、委員
〃	委員会室B	タブレット等検討特別委員会（第6回）	委員長、委員、ほか
10月19日	議員控室	議員協議会（第17回）	議長、議員
〃	正副委員長室	文教産業常任委員会（第8回）	議長、委員長、委員
11月13日	委員会室B	タブレット等検討特別委員会（第7回）	委員長、委員、ほか
11月20日	委員会室A	議員協議会（第16回）	議長、議員、ほか
11月27日	議場	議員協議会（第19回）	議長、議員、ほか
11月30日	委員会室B	議会運営委員会（第8回）	委員長、委員
12月8日	委員会室B	議会運営委員会（第9回）	委員長、委員、議長
12月13日	議員控室	議員協議会（第20回）	議長、議員
12月13日	委員会室A	総務厚生常任委員会（第6回）	委員長、委員、議長
〃	委員会室B	文教産業常任委員会（第10回）	委員長、委員

議長・議員

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
令和5年 9月27日	東京都	町村議会広報研修会	広報委員3名
10月13日	東神楽小学校	行政視察（夕張市議会・行政常任委員会）	議長
10月17日	当麻町	上川町村議会議長研修会	議長
11月1日	東神楽大学	行政視察（広尾町議会・産業常任委員会）	議長
11月13日	上川町	中央部議長会正副議長研修会	議長・副議長
11月21日	ふれあい交流館	第46回東神楽町社会福祉大会	議長
11月28日	東京都	上川議長会臨時総会	議長
11月29日	〃	町村議会議長全国大会	議長
11月30日～ 12月1日	〃	中央単独要望	議長、ほか

議会傍聴

12月13日（水）
東神楽小学校 6年生 34名
石山校長先生 引率教諭2名

子供達は議員の質問、
町長の答弁に
真剣に耳を傾けていました





タブレット等検討特別委員長
清野 修一

タブレット等検討特別委員会報告書（中間報告）

令和5年第2回東神楽町議会において付託された事件について、東神楽町議会会議規則第47条第2項の規定に基づき報告致します。

記

1 特別委員会の概要

- (1) 設置 令和5年6月22日
- (2) 目的 議会のタブレット、ライブ配信等ICTの導入及び活用についての調査及び研究のため
- (3) 委員
 - 委員長 清野 修一
 - 副委員長 小宮 達一朗
 - 委員 横溝 政行、松尾 貴野枝、小泉 義隆

2 活動経過

回数	日程	調査・協議事項
第1回	6月22日	委員長、副委員長の互選について
第2回	6月22日	委員会の進め方・検討事項等の確認
第3回	7月31日	タブレット使用における費用負担について ほか
第4回	9月13日	会議システム「moreNOTE」デモンストレーション
第5回	10月11日	会議システム「SideBooks」デモンストレーション
第6回	10月17日	費用負担、タブレット端末の使用基準について ほか
第7回	11月13日	会議システム、タブレット端末の選定 ほか

3 委員会報告

本特別委員会では、上記活動経過のとおり検討・協議を重ね、コスト、機能、使い勝手等により会議システム及びタブレット端末を下記のとおり選定しました。なお、議会の費用負担、タブレット端末の使用基準については、引き続き検討を進めます。

- (1) 会議システム「moreNOTE（モアノート）」（富士ソフト株式会社）
- (2) タブレット端末 iPad 10.9 インチ Wi-Fi+Cellular モデル



二十歳を迎えられた皆様 おめでとうございます



上川管内町村議会議員研修会

10/19(木)旭川市公会堂で行われた研修会で登壇した中村氏は徳島県川島町の元町長の経験から「住民から期待される議会になろう」という演題で、議会が町民とどのように関係を築くかについて話しました。戦略の立て方では、行動分類を無関心層からアクティビスト(活動家)までを5つに分類して、どのように1つ上の段階にするかを説明しました。別の研修会でも他の講師が言っていたように広聴、住民から聴くことが重要だと感じました。聴く⇒研究する⇒解決策を講じる⇒住民と共有(広報)⇒聴くという循環で議会活動を行うべきですね。二代表制では議会と首長の役割、町長側には執行権があり議会側へ条例や予算などを提案する。議会側はそれを議決する権利がある事などを説明しました。有権者である住民の声を聴く点では町長側も議会側も同じですね。町長と議会が「できる・したい」事も大事ですが、住民の声を良く聴き「するべき」事をしていく必要があると思います。



早稲田大学マニフェスト研究所
事務局長 中村 健氏

委員長	横溝 政行
副委員長	小宮 達一朗
委員	生田 栄
委員	竹久 美紀恵
委員	松尾 貴枝
委員	清野 修一

★議会広報
常任委員会

議会を傍聴してみませんか？
住民の皆様が、会議の状況を直接見聞きできるよう、本会議室には傍聴席が設けられています。

